

広報

# しょうぼう さつま 119

SATSUMA FIRE DEPT. Public relations magazine



平成17年



令和6年

特集

## さつま町消防本部 発足20年

SATSUMA FIRE DEPARTMENT 20th Anniversary

contents

P2～P3 特集 さつま町消防本部20年  
P4～P5 各係からのお知らせ  
P6 さつま町の消防団

Vol.41

令和7年6月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366

TEL 0996-52-0119

FAX 0996-53-0119



# さつま町消防本部発足20年にあたって

第9代消防長 木場 哲志



り、温かく支えてくださる町民の皆さまのおかげであり、心より深く感謝申し上げます。また、消防本部の礎を築いてこられた歴代の消防長をはじめ、諸先輩方、さらには関係機関の皆様のご尽力に対し、改めて敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

私たちはこれまで、平成18年の鹿児島県北部豪雨災害をはじめとする幾多の災害に対応してまいりましたが、近年は自然災害の激甚化・頻発化に加え、高齢化に伴う救急搬送件数の増加など、消防活動の領域はますます広がっております。こうした状況の中、町民の皆さまから寄せられる期待と信頼に応えるべく、日々訓練に励み、技術と知識の向上に努めております。

消防の役割は災害対応にとどまらず、地域の防災意識を高めることも重要な使命の一つです。私たちは、各種防災訓練や啓発活動を通じて、町民の皆さまとともに「自助・共助・公助」の精神を育みながら、防災力の向上に取り組んでまいりました。防災は行政や消防だけで担うものではなく、地域全体で取り組むべき共通の課題であり、今後も皆さまと連携しながら、より安全・安心な町づくりを進めてまいりたいと存じます。

この20年の歩みを振り返るとともに、未来を見据え、新たな決意を胸に、町民の皆さまの安全と安心を守るため、なお一層の努力を重ねてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



⑦ 令和3年 7月さつま町に豪雨



④ 平成28年 緊急消防援助隊応援出動 熊本



① 平成18年 鹿児島県北部豪雨



⑧ 令和3年 全国救助大会出場



⑤ 平成31年 消防学校教官派遣



② 平成21年 全国救助大会出場



⑨ 令和5年 女性消防職員2名初採用



⑥ 令和2年 新型コロナウイルス感染対策



③ 平成23年 緊急消防援助隊応援出動 宮城



# 20年のあゆみ 平成17年～令和7年 主な出来事・災害

|             |          |                                                                                                       |
|-------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成17年（2005） | 3月       | ・市町村合併により、新町「さつま町」誕生<br>さつま町消防本部発足（職員数41名）                                                            |
| 平成18年（2006） | 7月       | ・鹿児島県北部豪雨 発生 ①<br>さつま町宮之城地区が、川内川の溢水により甚大な被害を受ける                                                       |
| 平成21年（2009） | 4月<br>8月 | ・新型インフルエンザ（H1N1）流行<br>・全国消防救助技術大会出場 ②<br>基本訓練ロープブリッジ渡過にて村田健一消防副士長（当時）が会場（さつま町消防本部初の全国大会出場）            |
| 平成23年（2011） | 1月<br>3月 | ・鹿児島県 新燃岳噴火<br>・東日本大震災 発生 マグニチュード9.0<br>緊急消防援助隊鹿児島県大隊 1次派遣<br>救急小隊1隊3名・後方支援隊1隊2名応援出動 ③<br>2次派遣 2隊4名出動 |
| 平成26年（2014） | 8月<br>9月 | ・西日本豪雨・広島市で土砂災害発生（死者77名）<br>・長野県 御嶽山噴火（死者58名）                                                         |
| 平成27年（2015） | 5月       | ・鹿児島県 口永良部島噴火                                                                                         |
| 平成28年（2016） | 4月       | ・熊本地震 発生 マグニチュード7.3（死者221名）<br>緊急消防援助隊鹿児島県大隊 2次派遣 救急小隊1隊3名応援出動 ④                                      |
| 平成29年（2017） | 4月<br>7月 | ・さつま町消防団女性部発足<br>・九州北部豪雨（死者37名）                                                                       |
| 平成30年（2018） | 7月       | ・平成30年7月豪雨（死者237名）                                                                                    |
| 平成31年（2019） | 4月<br>5月 | ・鹿児島県消防学校へ派遣教官として1名派遣（3年間） ⑤<br>・元号が「平成」から「令和」に                                                       |
| 令和元年（2019）  | 10月      | ・台風19号（死者99名）                                                                                         |
| 令和2年（2020）  | 1月<br>7月 | ・新型コロナウイルス 国内初の感染者確認 ⑥<br>・熊本県7月豪雨（死者84名）                                                             |
| 令和3年（2021）  | 7月<br>8月 | ・静岡県 熱海市伊豆山地土砂災害<br>・さつま町に豪雨（農地や道路に甚大な被害） ⑦<br>・全国消防救助技術大会出場 ⑧<br>基本訓練ロープブリッジ渡過にて下築翔消防副士長（当時）が会場      |
| 令和5年（2023）  | 4月       | ・女性消防職員採用（2名） ⑨                                                                                       |
| 令和6年（2024）  | 1月<br>4月 | ・石川県 能登半島地震<br>・行政職との人事交流開始                                                                           |
| 令和7年（2025）  | 4月       | ・北薩3消防本部指令センター運用開始<br>さつま町消防本部・薩摩川内市消防局・阿久根地区消防組合消防本部の3消防本部が通信指令業務を共同で運用                              |

## 「事前の一策は、事後の百策に勝る」

災害対策は、事前に十分な準備をすることが、事後に慌てるよりはるかに効果的。これは災害に限らず、熱中症などあらゆる場面で有効です。

### 熱中症に注意しましょう (救急係)

さつま町の熱中症の救急搬送は、特に高齢者の草刈りなどの農作業による搬送が多く見られます。

草刈り作業は、1人で作業することが多く、水分補給や休憩が少ない！切りのいいところまで終わらせようと無理をする！気温の上昇に気付きにくい！（活動不備） 熱中症の具体的な症状がわからない！（知識不備）など知らず知らずに熱中症にかかってしまいます。



農作業時は、発汗量が多く脱水状態になりやすいため、こまめな水分補給や休憩を取り、高温時の屋外での作業は極力避けましょう。また、作業は2人以上で行うか、家族が時間を決めて飲み物を運ぶなど、定期的に異常がないか確認しあうようにしましょう。

自分の体力を過信せず、体調不良の症状が少しでもみられたら、無理せずに作業を中断しましょう。



### 鹿児島県総合防災訓練 (警防係)

5月25日、「令和7年度鹿児島県総合防災訓練」が実施されました。本訓練は、さつま町において線状降水帯が発生し、川内川流域の全地区に対し、「緊急安全確保」発令中のところ、県北西部を震源とするM7.0の地震（さつま町最大震度6弱）が発生。これらの影響で町内に土砂崩れによる孤立集落や家屋の倒壊、多数の傷病者発生など甚大な被害が生じているという想定で行われました。

この訓練には、地域住民や医療機関、警察、自衛隊、鹿児島県防災航空隊など96の機関及び団体が参加。

さつま町消防本部は、倒壊家屋からの救助訓練や、県防災ヘリコプターと連携し孤立地域への隊員投入、大規模火災消火訓練を実施。各関係機関と連携した活動を行い、大規模・複雑化する災害対応の第1歩として、実践的な経験を積む貴重な訓練となりました。



### 新規採用職員の紹介 (総務係)

令和7年4月1日付で、さつま町消防本部に2人の消防士が仲間入りしました。現在2人は、日置市にある鹿児島県消防学校で第88期初任教育生として入校し、半年間、消防の基礎的な知識と技術の習得・体力づくり及び消防人として必要な人格形成を図ることを目的に、日々の教育訓練に励んでいます。



さつま町田原出身

小西 一輝 20歳  
こにし かずき



さつま町神子出身

東條 國人 18歳  
とうじょう くにひと



## さつま町ホームページ「消防サイト」 (総務係)

さつま町ホームページ内の「消防サイト」で各係からのお知らせや実施予定の訓練情報、活動報告などいろいろな消防関係の各種情報を配信しています。

※各種届出がオンラインで申請  
できますのでご利用ください



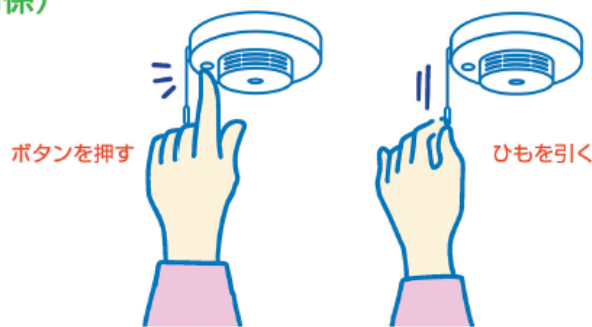
「消防サイト」のQRコード



## 住宅用火災警報器の維持管理について (予防係)

平成23年6月に住宅用火災警報器が設置義務となり、現在13年が経過しました。住宅用火災警報器は約10年で電池切れや電子機器の経年劣化・ほこりなどの蓄積で火災を感知できなくなる可能性があります。定期的な点検を行い正常に作動するか確認を行いましょう。

さつま町でも、住宅用火災警報器を設置していたことにより全焼を免れた事例もあります。



点検方法

**火災の早期発見で命や財産を守る住宅用火災警報器 10年を目安に交換をおすすめします!!**



## 避難通路や消防用設備の前に物を置いていませんか? (予防係)

緊急時には一刻を争う行動が求められます。避難通路や消火器などの消防用設備の前に物が置かれていないと、避難や初期消火等の妨げになり、逃げ遅れや被害の拡大につながります。

日頃から通路や消防用設備の周辺には物を置かないことが、皆さまの命を守ることにつながります。今一度、身の回りを確認しましょう。



## 日特WKS公園 春まつり開催!! (予防係)

5月6日、Niterra日特スパークテックWKS公園春まつりで、来場者へ火災予防の大切さを知っていただくとともに、消防をより身近に感じてもらうため防火広報イベントを実施しました。

当日はあいにくの天候となりましたが、車両展示や子ども用消防服の着装体験、女性消防団員による紙芝居の読み聞かせなどを実施し、幅広い世代の方に楽しんでいただきました。





# さつま町の消防団

## 消防団幹部紹介

任期満了に伴う消防団本部の改選がおこなわれました。

団長に井手原清美氏、副団長に笹田正一氏が再任されたほか、久保田仁氏が宮之城東部方面隊長、高嶺実樹雄氏が鶴田方面隊長に選出され、8名の分団長が新たに任命されました。

団長 井手原 清美

副団長 笹田 正一

宮之城東部方面隊長

宮之城西部方面隊長

鶴田方面隊長

薩摩方面隊長

久保田 仁 【新】

濱田 誠

高嶺 実樹雄【新】

野元 益美

宮之城東部方面隊

中央 白石 和也

川原時吉 吉祥庵 豊美【新】

虎居 宮 伸一郎【新】

佐志 豊増 浩三

湯田 小緑 光宏【新】

船木 長松院 知巳【新】

各分団長一覧

(敬称略)

宮之城西部方面隊

山崎 牧田 学

二渡 折小野 正喜

久富木 中山 忠文

平川 中園 英紀

きらら 大平 剛司【新】

鶴田方面隊

鶴田 海江田 隆

神子 岩崎 光義【新】

柏原 中村 幸生【新】

紫尾柊野 西 景勝

薩摩方面隊

永野 村上 一徳【新】

求名 松尾 秀樹

南求名 上 和男

中津川 段 博幸

(令和7年4月1日現在)

## 新入団員研修・機関員研修を実施

さつま町消防団に、新たに18人が入団し、令和7年4月20日(日)「新入団員研修」を実施しました。消防団員に必要な例規や規則などの基礎知識の座学を実施した後、規律訓練や消火活動に必要な実技訓練を行いました。

また、同日、消防自動車のポンプ操作などの運用に必要な知識や操作を学ぶための「機関員研修」を実施しました。各分団の機関員や機関員予定者を対象に研修を行いました。ポンプの基礎知識や運用技術を理解し、消防自動車・小型ポンプを的確に運用できるように技術の習得に務めました。



問い合わせ先 さつま町消防本部 消防総務課 消防団係

Tel 0996-52-0119 Fax 0996-53-0119 鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366 番地

さつま町では **消防団員・女性消防団員**を募集しています！